

北海道地域福祉学会ニュース No.43

発行日：2015年3月31日

編集：北海道地域福祉学会広報委員会（委員長 忍 正人）

【報告】第2回定例研究会を開催しました

2014年9月27日（土）北星学園大学を会場に開催された第2回定例研究会には、20名の参加者を迎え、NPO法人 余市教育福祉村青少年自立支援センター「ビバの会」ビバハウス代表の安達俊子氏と安達尚男氏にご講演いただきました。ビバハウスは、引きこもりの若者などに対する農業体験を通じて自立生活への道筋を導くことを目的として活動しています。また、年金生活者に対して、副収入を得るための農業塾を目指すNPO法人「風のがっこう」と実施することとなった共同事業についてもお話をいただきました。



【報告】全道研究大会・研究実践研究発表を開催しました

2014年11月8日（土）に北星学園大学を会場に開催された全道研究大会・研究実践研究発表には44名が参加。午前は会員による実践活動発表（2本）と自由研究発表（4本）が行われました。

実践研究発表

1. 「市民活動を支える新たな地域福祉の展開」(© 篠原辰二・佐藤大介・岡部和夫：一般社団法人 ウェルビーデザイン)
2. 「未来へつなげる地域づくり～新ひだか町三石歌笛におけるこども・おとな企画の実践～」(中川睦季：新ひだか町社会福祉協議会三石支所)

自由研究発表

1. 「地域高齢者の閉じこもりに関連する要因」(© 水口和香子：旭川市末広・東鷹栖地域包括支援センター、藤井智子：旭川医科大学医学部看護学科)
2. 「援助職の自己について」(藤原亮一：田園調布学園大学人間福祉学部)
3. 「東日本大震災における学生ボランティア活動の参加動機に関する考察 - いわて GINGA-NET プロジェクトのコミュニティ支援活動を通して -」(© 佐藤大介・篠原辰二：一般社団法人 ウェルビーデザイン、山本克彦：日本福祉大学、八重樫綾子：特定非営利活動法人いわて GINGA-NET)
4. 「自立生活センターの介助者における介助業務の魅力と矛盾」(高橋銀司：オホーツク社会福祉専門学校)

基調講演・シンポジウム

午後からは本年度の学会テーマ「集落コミュニティの支えあい」に関して、基調講演とシンポジウムを開催しました。基調講演はコミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do（フィール・ド）代表の栗原英文氏より『子どもが笑顔で育つ地域づくりを目指して』を講演テーマとして、国内外での子どもたちを対象にした実践活動についてご報告いただきました。



シンポジウムでは3名の社会福祉協議会職員（藤田裕行氏：北海道社会福祉協議会事務局長、櫻井宏樹氏：苫小牧市社会福祉協議会 市民相談所権利擁護支援センター長、成田哲也：新ひだか町社会福祉協議会 総務課長兼地域福祉課長）による実践報告が行われ、これからの地域福祉と社会福祉協議会のあり方について、参加者との質疑を通じて検討しました。



【報告】第3回定例研究会を開催しました

2015年2月22日（日）に北星学園大学を会場に開催された2014年度第3回定例研究会には、31名の参加者を迎え、「社会福祉協議会からみる地域包括ケアの現状と課題」をテーマに、釧路市社会福祉協議会事務局長の小野信一氏にご講演いただきました。集落コミュニティの支えあいでは、特定の問題解決だけではなく、地域住民が抱える課題から地域に潜在する課題を探り、新たなサービスを柔軟に開発することが重要になります。講演では、集落コミュニティの支えあいの学びとして、釧路市において町内会ごとに取り組みられている小地域ネットワーク活動やサロン活動など、地域に潜在する福祉課題への実践的な取り組みを学ぶ機会となりました。



▶ 日本地域福祉学会第29回大会のおしらせ

次年度、日本地域福祉学会第29回大会が宮城県仙台市の東北福祉大学で開催されます。詳しくは日本地域福祉学会ホームページをご覧ください。テーマ等の詳細が決まりましたら、本会学会ニュースでもお知らせいたします。

日 時：2015年6月20日（土）・21日（日）
場 所：東北福祉大学（宮城県仙台市）
テーマ：「新時代の福祉コミュニティを構想する
～震災からの復興と地域福祉～」
H P：<http://jracd.jp>

▶ 事務局より

☑会員状況（2015年3月31日まで）

【新規入会（敬称略、入会順）】

石黒建一（浦河町社会福祉協議会）、小野信一（釧路市社会福祉協議会）、櫻井宏樹（苫小牧市社会福祉協議会）、難波志帆（北海道科学大学保健医療学部）、棚橋 嘉美（北海道科学大学保健医療学部）、鴨志田麻実子（平成会病院）以上6名。

（現会員数：127名）

☑業務委託や講師等の派遣調整を行います

本学会では、学会役員及び会員の研究活動を社会還元するため、各種の業務委託や講師派遣等を実施しています。事務局において調整やご相談に応じておりますので、各方面への周知協力並びに事業へのご協力をお願いいたします。

2013年度には登別市社会福祉協議会、新ひだか町社会福祉協議会の各事業に講師を派遣したほか、2014年度には、北海道社会福祉協議会が主催する「ボランティア担当市区町村社協向け相談会」（全3回）に対し、アドバイザーを派遣しています。

☑学会費の納入をお願いします

学会規約に基づき会費は年額5,000円、会費を2年以上滞納した会員は理事会にて退会したとみなすことができると定められておりますが、より多くの会員の皆様と共に北海道の地域福祉研究を推進するため、会費の納入にご協力をお願いいたします。

ご連絡がない状態が続きますと退会となり、再び会員登録を行う際には未納分の納入をご依頼することとなりますので、ご注意願います。

☑会員情報の変更をご連絡ください

新年度に入り、勤務先や所属先、役職等、会員情報登録に変更があった場合は、事務局にご連絡をお願いいたします。会員情報の変更用紙は学会ホームページよりダウンロードが可能です。

☐事務局（事務局員：篠原・佐藤・畠山）

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南2丁目7-28

一般社団法人 Wellbe Design 内

TEL：011-801-7450

FAX：011-801-7451

Eメール：info@hacd.jp

URL：<http://www.hacd.jp>